

令和5年度の活動計画

昨年度は、予定していた活動が中止や延期となり、地域の皆様にはコロナ禍とはいえ大変ご迷惑をお掛け致しました。本年度は、以下のとおりさまざまな活動を予定しております。

- 4月：あいさつ運動
- 6月：防災施設体験見学
- 9月：認知症サポーター養成講座
- 9月：認知症声かけ模擬訓練
- 10月：敬老会行事
- 10月：防災施設体験見学
- 11月：あいさつ運動
- 11月：おはなし会
- 2月：そば打ちの会
- 3月：お花見会



以上、出来るだけ計画に沿った活動を実施してまいりますので、地域の皆様のご協力をお願い致します。

主な令和5年度活動予定

6月・10月 防災施設体験

◇場所：本所防災館（都内、墨田区横川4丁目）

※予定

◇人数：40名（参加費：無料）

◆6月：まち協会員による見学

◆10月：地区内公募による見学 40名様

※9月に募集要領を戸別に配布いたします。



地震体験コーナー

屋外やコンビニを想定した地震体験ができ、より臨場感があふれる体験ができます。



都市型水害体験コーナー

局地的集中豪雨や津波に関する映像、地価のドアの開放体験ができます。



VR防災体験コーナー

VR（バーチャルリアリティ）技術を活用し、地震・笠井・風水害を疑似体験できます。

10月 敬老会

コロナ禍で3年間中止していた敬老会を、今年は開催する予定です。
クラシックギターバンドMJ7並びにチェロとピアノの演奏会を計画しております。
※9月に戸別配布でご案内致しますので、お誘いあわせの上、
多数ご参加ください。



2月 そば打ちの会

小山そば打ち会・みずき野二八会の協力により、第1回そば打ちの会を予定しております。
※1月に戸別配布でご案内致しますので、是非ご参加ください。



活動報告～防災勉強会～

「災害は、忘れた頃にやってくる」は、明治の物理学者寺田寅彦の警句ではありますが、私達は普段ややもすると忘れがちです。大きな地震・台風・水害などの災害は珍しくなくなり、たびたび死傷者が出るほどの事例が起こっています。2月1日に愛宕公民館にて、講師に交通防災課の職員を招き、防災講習の一貫として、避難所でのダンボールベットの組立てと設置方法について講習を受けました。

講習会では講師がまず組立てを行い、次に参加者が組立てるといった方法で行いました。誰でも容易に組立てられるよう造られているので、参加した皆さんも比較的簡単に組立てておりました。

非常事態は、無いに越したことはありませんが、いざという時の備えとなれば幸いです。



ベッド組立の様子



組立後のひと休み？



屋内用テント

活動報告～みんなでウォーキング～

3月25日「みんなでウォーキング」は、あいにく雨天のため中止となりましたが、池田先生から次のような貴重なお話を聞くことができました。

「守谷野鳥のみち」には、当初絶滅希少種のオオタカの生息地(天神の森)があり、守谷市都市計画道路(現若葉通り)の計画では直線道路であったが、これでは生息環境保全に重大な影響を及ぼすことから検討会を重ねた結果、天神の森から西側に大きく迂回したS字道路に変更されました。

工事開始後しばらくは、この付近からオオタカは見られなくなりましたが、2019年には天神の森に戻り、森の中で繁殖が始まり、以後毎年2羽のヒナの巣立ちが確認されているそうです。

また、オオタカのような猛きん類が生息していることは、食物連鎖(猛きん類←小鳥←肉食昆虫←草食昆虫←植物)が正常に育まれているということだそうです。

先生は、黒内小学校の校長を退職され、現在、「小さな鳥の資料館」を私費で運営しているほか、茨城県鳥獣センターの依頼を受け、ボランティアで「エディケーションボード」に力を注がれているそうです。

エディケーションボードとは、狩りができなくなったり、翼の損傷がひどく、野生に戻れなくなってしまった鳥たちを保護し、一般の人々と至近距離でも落ち着いていられるよう訓練した、人と自然をつなぐ役割を担う鳥たちのことです。

また最近では、小中学校の環境教育の一環としても、エディケーションボードを取り入れているそうです。



オオタカ



池田先生を囲んで集合写真



池田先生



カワセミ



野鳥のみち



サシバ

絶品のモミジイチゴや氷滑り!

～通学時の思い出～

約55年前の頃の話です。守谷町には小学校が4校、中学校は守谷中学校1校でした。現在の守谷A地区の小学生の多くは、守谷小学校へ通っていました。郷州小学校がある現在からすると、かなり長い通学路です。当時は砂利道で、ほとんどが畑や田、雑木林で、家はまばらにある程度でした。筑波山がきれいに見え、田植え後の田は真っ青な空を映していました。通学路には、四季折々の楽しみがありました。特に記憶にあるのはいちご狩り。赤い普通のイチゴでなく、木に生るオレンジ色の「モミジイチゴ」です。とげがある枝をかき分けながら採り、頬ばるいちごは甘酸っぱく絶品でした。



モミジイチゴ

四葉のクローバー探もしました。シロツメクサが群生している道端で、たくさん見つかるころがあり、五葉、六葉を見つけた友だちもいました。カブトムシやクワガタもたくさん採りました。それは通学路から少し横道に入った秘密の場所でした。

冬には氷滑りができました。山影の田んぼに残っている水が厚い氷になり、自然のスケートリンクが出来上がります。時には氷が割れて靴が泥だらけになることもあり、勇気のいる楽しい遊びでした。先日、その道を妻といっしょに歩いてみました。何十年ぶりでしょう。

畑だった所には家、家、家。筑波山はあまり見えません。田の道は背の高い雑草で覆われ、先は見渡せません。6年間通った道の面影は少し残っていましたが、景色は見違えるほどでした。自然の緑がいっぱいだった頃の様子を話しながら、きれいに舗装されている道を軽やかに進みました。よくこの道を歩いたものだと感心しながら、うれしいような寂しいような気分になりました。

上記の記事は、地区内の匿名さんから寄せられたエッセイです。まち協では、皆様からの経験談などを募集しておりますので、下記まで奮ってご応募ください。お待ちしております。

歓迎

まち協に新メンバー加入!

本町在住 高橋 房子さん、本町在住 安藤 愛美さん
皆さん今後とも宜しくお願い致します。

まち協メンバー募集!

守谷A地区まちづくり協議会では、一緒に活動していただけるメンバーを募集しております。

あなたの力を貸してください!

興味のある方は、下記まで気軽に問い合わせください。

【問い合わせ先】

▶ まち協事務局 佐野シズエ 090-4815-5285

▶ 守谷市役所 市民協働推進課

メール kyoudou@city.moriya.ibaraki.jp

電話 0297-45-1111(内線133)



休日だけの活動でもOKですよ!